

やさしいまち 岐阜

～動物の問題は、人の問題でした～

なぜ動物問題に取り組むのか

動物問題というと、犬や猫が好きな人だけの話だと思われがちです。

しかし実際には、高齢者福祉、防災、公衆衛生、教育、地域環境、野生動物対策など、私たちの暮らしと深く関わっています。

私は活動をする中で、「動物問題は人の問題でもある」と

感じるようになりました。

今回は2年間の動物行政への取り組みをご報告します。



解決
しました!

エサやり禁止看板の見直し

岐阜市内には「のらネコにエサをあたえないでください」という看板が設置されていました。この表現は動物愛護管理法や環境省の考え方と合わず、野良猫問題の本来の原因を正しく伝えていない、と法律の専門家や全国のボランティアより指摘を受けていました。私は撤去を求めました。

その結果、この看板は廃止されました。しかし、現在も課題が残っています。(詳しくは裏面で解説)



廃止された看板

解決
しました!

野良猫問題を地域課題に

野良猫問題は特定の個人やボランティアの問題ではなく、地域全体で取り組むべき環境課題です。岐阜市内では野良猫が原因で近所同士の仲が悪くなった相談が多く、岐阜市内の自治会連合会会長へ働きかけを行い、野良猫問題の現状や地域猫活動の必要性について説明を重ねました。岐阜市市民活動支援事業を活用し、自治会関係者の皆さまに向けた勉強会や啓発活動、地域のボランティア育成事業など、野良猫問題を「まちづくり」として考えていただく取り組みを進めました。こうした活動の結果、ご理解をいただける自治会連合会も増えていき、**地域環境課題として取り組む基盤づくりにつながりました。**

解決
しました!

岐阜市飼い主不明な猫不妊手術補助金を自治会連合会で申請できるように

野良猫問題を自治会連合会と地域の環境課題として取り組む中で、「地域の問題なのに、なぜ助成金は個人しか申請できないのか」という課題がありました。そこで自治会連合会会長らと共に岐阜市保健所へ働きかけを行い、今まで個人申請が中心だった補助金も、**自治会連合会でも申請できるよう制度運用が見直されました。**これは単なる制度変更ではなく、「**野良猫問題を地域課題として行政が認めた大きな一歩**」です。

解決
しました!

ペット同伴避難モデルの実現

国内では、災害時にペットがいることを理由に避難を諦め、二次災害に巻き込まれてしまった事例が報告されています。私は実際にペット同伴避難に取り組んでいる羽島市の関係者からお話を伺い、どのような配慮が必要なのかを学びました。ペット同伴避難に興味を示した梅林自治会連合会へその関係者をお繋ぎし、ペット同伴避難が可能になりました。小学校の空き教室を活用し、**動物アレルギーや苦手な方との空間を分けて避難できる「ペット同伴避難モデル」が実現しました。**実は岐阜市内でも床下浸水による避難警報が発令された地域で、飼い猫と共に避難所を訪れた高齢女性が、動物を連れてくることを理由に避難所の利用を断られたという出来事がありました。人を守るためのペット同伴避難。ペット同行避難は浸透しつつありますが、まだまだ同伴避難は課題が多いように感じます。ペットを飼っている人も安心して避難できる地域づくりを進めていきます。



梅林自治会連合会 ペット同伴避難訓練の様子



■くまざきゆかプロフィール

昭和48年 岐阜市生まれ
 徹明小学校 / 本荘中学校
 岐阜北高等学校
 長野県女子短期大学教養学科
 野田聖子東京女性政治塾
 (一社)林英臣政経塾第19期生

専門学校講師 (IT・インターネット分野)
 元動物系NPO職員
 キャット28(にゃー) 岐阜支部長
 地域環境と命を守る研究会



日々更新!
 最新の活動情報を掲載!
 くまざきゆか公式ホームページ
<https://kumazaki-yuka.com>

令和8年6月発行
 発行元:くまざきゆか後援会
 岐阜市金町5-18-3

討議資料

くまざきゆか
 YouTubeチャンネル



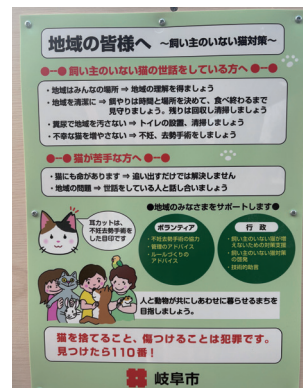
猫と学ぶ、ちょっとやさしい
 政治のバナシ
 おしえて ゆかさん

動物問題を動物だけの問題とは考えていません。高齢者福祉、防災、教育、公衆衛生、地域環境など、人の暮らしと深く関わる課題です。人も動物も安心して暮らせるまち。命も暮らしも大切にできるまち。そんな「やさしいまちぎふ」の実現を目指して取り組んでいきます。

現在進行中の取り組み

「無責任なエサやり」表記の見直し

「のらネコにエサをあげないでください」という看板は廃止されました。しかし現在も課題は残っています。「猫への無責任なエサやりは、やめましょう」という表記が使われている看板がまだ存在しています。また本年度から新しい看板も配布されました。動物愛護先進都市で長年に渡り、行政と協力しながら制度づくりに関わってきた関係者からは、「行政が猫問題は全て市民がやるという意識がよくわかる看板。以前よりも市民への責任転嫁が強くなっている」と指摘をうけています。これらの看板は一見すると適切な表現のようにも見えますが、法的な整理や行政の責任が十分に示されていません。環境省の方針や動物愛護管理法、そして先進自治体の取り組みも参考にしながら、岐阜市の動物行政をより実態に合ったものへ改善していきます。



本年度から配布された看板

疥癬タヌキ問題と公衆衛生

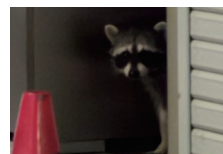
住民の方から、庭に疥癬（かいせん）の疑いがあるタヌキがおり市役所に電話相談をしたら捕獲後に山へ放獣された相談がありました。人やペットへの影響も考えなければならない公衆衛生上の課題です。しかし、住民からの情報提供があったにもかかわらず、感染症の動物が山に戻されました。この対応が適切だったのかを確認するとともに、野生動物対策と公衆衛生の両面から改善を求めています。現在、岐阜市と経緯や対応について確認を進めております。また、野生動物由来感染症や疥癬への対応は岐阜県の所管事項に含まれると岐阜市から回答があり、県にも同様に問い合わせを行い、制度や運用の実態について確認しているところです。＊疥癬はヒゼンダニによる皮膚病です。放置すると自然死してしまいます。人にもペットにも感染します。



疥癬により毛が抜けたタヌキ

アライグマ問題と動物福祉

アライグマは特定外来生物であり、生態系や農業への被害対策は必要です。だからといって動物福祉への配慮が不要になるわけではありません。市民から見える場所での処分方法や、動物の苦痛軽減への配慮について改善を求めています。単なる感情論ではなく、環境省が公表しているアライグマ防除の手引きにおいても示されている考え方です。しかし、岐阜市の運用では、こうした点が十分に守られていないと言えない状況が見受けられました。そのため、環境省の指針との整合性や、委託業者への指導監督体制について確認を行い、改善を求めました。岐阜市からは改善を行う回答をいただきましたが、実際に現場で適切な運用が継続されているかについては、今後も確認が必要です。



深夜街中に現れたアライグマ



住民の目の前で殺処分が行なわれた

これから取り組むこと

岐阜市市民と動物の共生社会の推進に関する条例の見直し

現在の「岐阜市市民と動物の共生社会の推進に関する条例」は、平成時代に制定された条例です。しかしその後、動物愛護管理法の改正、環境省の方針、動物と人の問題など、社会環境は大きく変化しました。地域猫活動、ペット防災、高齢者とペット支援、居住支援に関わる中で、さまざまな課題と向き合ってきました。その活動を通して気付いたのは、現在の条例が作られた当時には想定されていなかった課題が数多く発生していること、そして条例を見直すことで解決に近づく課題が数多く存在することです。

今後さらに重要になる課題

- ・高齢者とペットの問題
- ・ペット防災
- ・野生動物と公衆衛生
- ・行政と地域の役割分担
- ・動物愛護教育
- ・多頭飼育崩壊への対応

上位法である動物愛護管理法、鳥獣保護管理法や外来生物法などの関係法令を基本としながら、環境省の方針や先進自治体の取り組みも参考にし、今の時代に合った条例へ見直していく必要があると考えています。人と動物の共生を考える上では、犬や猫だけでなく、野生動物、公衆衛生、防災、福祉、教育など幅広い視点が必要です。現代の課題に対応できる実効性のある条例へ見直していきます。



条例第9条(給餌者規定)の見直し

現在の条例第9条では、給餌者に対して不妊去勢手術など繁殖防止の措置を求めています。しかし、動物愛護管理法では、適正飼養や繁殖制限の責任を負う者は「飼主又は占有者」とされています。占有者とは、単に一度餌を与えた人を指すものではなく、その動物を継続的に管理し、自らの管理下に置いている者を指します。単に餌を与えているという理由だけで、給餌者へ飼主や占有者と同等の責任を求めることは、動物愛護管理法の趣旨との整合性について慎重な検討が必要です。野良猫問題の本来の原因は、動物の遺棄、終生飼養責任違反、繁殖制限不足、飼主不明化にあります。これらの予防に務めることが行政の役割であることも明確にしていきます。



行政の責任を明確にする

現在の動物行政は、市民やボランティアの善意によって支えられている部分が少なくありません。動物の問題は単なる愛護活動ではなく、環境問題であり、公衆衛生や福祉、防災にも関わる行政課題です。市民やボランティアの活動は大変重要ですが、本来行政が果たすべき役割まで任せのではなく、行政が主体となり、市民や地域と協力しながら取り組む仕組みへ見直していく必要があります。